

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 福津市男女共同参画審議会
開催日時	令和6年10月17日(木) 午後7時00分～午後8時20分
開催場所	本館2階 庁議室
出席委員	■横山 美栄子 ■山下 永子 ■三牧 誠 ■藤田 正雄 ■佐藤 聡 ■宗岡 正枝 ■山口 尚志 ■漆谷 慎一 ■松尾 光浩 ※山下委員は、Zoom による途中参加
欠席委員	花野 天地子
所管課職員氏名	市民生活部長 谷口 由貴 男女共同参画推進室室長 吉村 隆之 男女共同参画係長 末廣 要
会議議題	① 一行詩の報告および男女共同参画推進モデルへの意見・質問について ② 第2次「男女共同参画プラン・ふくつ」推進事業実施状況について ③ その他
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名
資料の名称	【資料1】令和6年度一行詩優秀作品集および推進モデルのプロフィール 【資料2】令和5年度男女共同参画推進事業実施状況一覧 【その他】 ・福岡県ジェンダー平等フォーラム 2024 チラシ ・福津市人権講演会チラシ
会議録の作成方針	要点筆記によるまとめ
	記載内容の確認方法 会議録署名人: 宗岡 正枝 ㊞
審議内容	
1. 市民生活部長より挨拶 2. 会長より挨拶 【事務局】 本会議の成立宣言を行います。 福津市男女共同参画審議会規則第3条第1項の規定により、委員の半数以上の出席で会が成立します。本日は、委員10名中9名の出席をいただいておりますので、本審議会は成立したことを報告いたします。福津市付属機関の会議の公開に関する要綱9条第2項の規定に準じ、会議録を作成するときは、会長が指定した者により会議の確認を得るものとする事となっておりますので、会長により指名をお願いします。	

【会長】

今回は、宗岡委員にお願いしたいと思います。

【事務局】

本会議は公開になっておりますが、本日、傍聴の希望者はいませんでした。

この後の進行につきましては、福津市男女共同参画審議会規則第2条第2項の規定により、横山会長にお願いします。

【会長】

では、議題に入ります。議題①の説明を事務局からお願いします。

【事務局】

議題①【資料Ⅰ】について説明。

【会長】

何かご意見ご質問ございましたらお願いします。

【山口委員】

まず小学校の作品を見ると、1、2、3年生の低学年がいない。一般的に考えると、高学年のほうが優秀なものを作るのではないかと思われる。低学年にも、何かこう下駄をはかせると言いますか、何かそういうのもあってよかったのかなと。

中学校になると1年生が1人もいない。高校になると1年生だけしかいない。何か不思議な感じがする。多様性がないように思える。何か工夫をすれば良かったのではと感じた。

【事務局】

取り組み方法は、学校の方にお任せしているところがあります。

例えば、授業や宿題・夏休みの課題とかで取り組まれていると思われます。よって、学年の指定はしていないですし、先生たちが実施できる学年で行われているのではないかと思います。おっしゃるとおり、学年が偏ってしまうのは少し課題となるかもしれません。

【山口委員】

だから、そこはもう学校のカリキュラムの一環としてお任せするところではあるんでしょうけど、もう少し何かこういうふうな意見を言ってもよかったんじゃないかならうかと思えますけどね、これ見ると。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

【会長】

各学校に、男女平等教育推進委員の先生がいらっしゃいます。その方々が、男女共同参画推進室の方と連絡を取っていらっしゃいます。なので、審議会でこういう意見が出ました、ということをお伝え頂ければいいんじゃないでしょうか。それで指導に活かしていただくということで、どうでしょうか。

【事務局】

はい、伝えてみます。

【佐藤委員】

本来、一行詩は、募集要項というのがあって、それに基づいて作品が出て、それが審査されて、本審議会に上がってくるものだイメージしています。この募集要項がないところでは、我々も言いようがないかなと思うので、例えばそういう募集要項を作って、それに基づいて各学校のほうに提出頂いて、それを審査した結果を我々が承認するっていうようなスキームを今後考えていただければというような意見にされてはどうかと感じているところであります。

【事務局】

募集要項までは無いが、「募集案内」を校長会のときに（校長先生に）お渡ししていますし、平等教育推進委員の先生にもお渡しはしています。

【佐藤委員】

その案内を確認し、この委員会で協議されたほうがいいのでは。

【会長】

審議会としては、それを実施する場ではないので。

要項や案内文書を私たちが決めるものではありません。案内文書等ありましたら、こういう文言を入れてくださいなど希望も言い易いかなと思います。

それをちょっと検討してみてください。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

【会長】

では、次に、令和6年の男女共同参画推進モデルについて説明をお願いいたします。

【事務局】

説明（別紙）

【三牧委員】

この方はどのような形でお知り合いになられたのですか？（推薦に至った経緯）

【事務局】

去年は、漆谷委員であった。今年は女性で誰かいないかとぼんやり考えていたところ、市の農林水産課より、女性の方で就農されている方がいらっしゃるという情報を得ました。取材した結果、このように推進モデルとして推薦させていただくこととなりました。

【松尾委員】

私は、国の認定農業者を決める福津市農政推進協議会の委員も兼務しています。その推進協議会

で承認した認定農業者 60 人の内、女性は今2名しかいません。農業は男の世界。その中で、狩猟免許を取っているってことは楽しみです。私からも、ぜひこの方を推進モデルとして進めてもらいたいです。

【会長】

農業従事する人、一つの女性のロールモデルということもあるし、本当にいい推薦だったかなと思います。ありがとうございます。このまま市長のほうに、お出ししたいと思います。

【会長】

では、2番目の議題に入ります。

第2次男女共同参画プランふくつ推進事業実施状況についてということで、先日、皆さんから担当の項目に記入して頂きましてありがとうございます。

皆さんから出ました案をもとにご意見を伺って、またほかの項目でも色々ご意見あるかと思うので、気になることがあったら言っていただきたいと思います。長く審議が必要なもの等がありましたら、改めて提案をしたいというふうに思います。「資料2」で出されているものにつきまして、特に何かご意見がおありでしたらお話しください。そして、これをもとに、次回最終案を確定して、市（市長）のほうに提出したいと思っております。

たくさんありますので、一つ一つ確認していくのはちょっと難しいと思いますし、あまりそこまで意味がないかなと思いますので、特に気になるところですね、あるいは全体のことについてご意見ありましたらお願いいたします。

【漆谷委員】

意見欄に「特になし」があります。一行でも良いので何かひねり出して書く。一行でも、一文字でもいいので何か書くべきじゃないでしょうか。今回は無理ですけど、次回からは必ず1つは書くということにしてみてもどうか。

【事務局】

そのご意見は、第1回の会議のところで同意見を頂きました。そこは、議事録にも載せております。

【佐藤委員】

すいませんが、私も「特になし」という意見を入れさせていただいたと思うんですけど、特に今答えようがないってところも確かにあります。それを無理に何か入れなきゃいけないっていう、ご意見ということでしょうか。

私は、他の委員会も出席させてもらっていますが、何かこの資料を作るための作業になってないかなっていうのが感想です。計画を推進していることに対しての実績が出て、何か課題が出て、それを踏まえて問題点を皆さんで話し合って、次の目標に向かうというプロセスだと思います。これ、何か作業するのが目的になってしまい、全然中身を協議するというプロセスになってないように感じています。本当に申し訳ないけど、これが商工会の担当ですって割り振られた中には、本当に関係ないものもあったりして、そのこの辺り、どう対応したらいいのかなってすごく悩ましいところがあります。例えば、今後、もう少しシンプルに「これがここまで達成した、ここが課題だ、なのでここについて皆さんどういう意見がありますか」という風にされたほうがいいんじゃないかなと感じています。

今、「特になし」というご意見があるといけないうようなご意見もあったんですけど、これを作

るための作業じゃないような気がする。私は、疑問に感じました。

委員の方がこんな作業をやっている委員会は実際ない。今のところ担当していません。

【会長】

私は、他の市町村の審議会にも出ているんですけど、男女共同参画については、基本どこもこれは作っています。

実施項目は、プランに従ってきっちり決まっています。もう少し意見が書きやすいとか形式は色々ある。実施する担当課も、そこに記入する項目が、例えば今年実施したことと、その達成度というような項目を作って書いてもらっているところもある。

それをもとに審議会として意見を出すというふうになっている訳です。

それなので、仕組みは大体同じだと思うんですけど、一つ一つの項目を議論するような形になっていないのは確かです。

【三牧委員】

私、佐藤さんのお話でちょっと理解ができなかったんですけども、実際言われている所っていうのは、もっとこの中で議論をしたほうが一つ一つに対していいと言われているのか。どの部分を言われているんですか。

【佐藤委員】

どの部分って言われると、もう基本的にこれ全体。男女共同参画推進っていう事業の中身を全員で本当は議論しなきゃいけないっていう話なんですけど、ここまで全項目事細かく分けて実務的に無理だった所は、ここが課題かっていうのを簡素化した形で、せめて審議したほうがいいんじゃないでしょうかっていうような提案です。

しかし、先ほど会長がおっしゃったように、項目数が決まっているというのは分からなかった。

【三牧委員】

項目数をシンプルにって言われているのか確認したかった

【会長】

実施する項目は、プランで決まっています。

【漆谷委員】

語弊があるかもしれないが、いっぱい書いたっていう実績で終わっているイメージ。ただおっしゃるように、ポイントだけで、こちらに回ってくるのは、もっと誰でも分かり易く書いていただいたものを評価・審議していくほうがいいのかなと思います。

【三牧委員】

各事業単位でチェックすると、必ずこの作業量になると思われます。よって、難しいと思われるが、シンプルに言うと、この事業単位ではなく、この事業は何のためにあるかっていうもう一つ上のレイヤーがあり、それに対して審議ができると 100 ぐらいあるのが 50 個になり、それに対して議論ができるイメージ、意味合いということですね。ありがとうございます。

【会長】

実は、表になると、私もすごく見づらいなあっていうことは思ったんですね、幾つかのところでは、1項目1枚のシートになっていて、そこに、細かな目標・その担当課が今年度やったこと、そして最終的に、評価をして審議会の意見を入れるというような形だと割と事業が見やすいなあというふうにしたので、次回提案したいなあというふうには思ったんですね。でも、それでもやっぱり70枚あるわけですよ。同じ項目でも、人権政策課と男女共同参画推進室がやるのでは違うかもしれないんですけど。関係ある担当課が、それぞれ出すので、項目が多くなるんですね。

だけど、それが共通にやったりしているところもあるので、どうしてもこれはシンプルにはなりにくいんですね。

でも、見方かなあという感じはしました。ここはだけど、問題点は、個々の事業と担当課等、目標まではもう決まっているものなので、ここから下なわけですよ。成果・評価と問題点・課題とそれを基にしたこちらの意見を見ていただきたい。そこを見て、これに対してちょっと足りませんよとか、もう少しこういうことをやってくださいっていうような意見を頂く。それを本当だったら、全体で共有して、ここが足りないんじゃないですかとかいうふうに話し合わないといけない。それなので、今日本当は、例えば時間を取って、事業名ごとに意見を頂くというような、中身の議論をするということではあるかと思います。

でもそうだとしたら、事前にすいませんけど、読み込んでおいていただいて、本当は年度始めに頂いていますプランと一緒に、出していただくと私たちも分かりやすいのかなあと思います。それが、本来あるべき姿だというふうに思います。

【漆谷委員】

やっぱり、意見があって、それに対して目標設定なりのリアクションというのが必要なんじゃないかなというふうに思います。

意見があっただけどこれはもうする必要ないとか、これは採用しますとかいうことじゃないと。佐藤委員がおっしゃった、ただ書くだけになっているんじゃないかなと。

目標、成果課題があって、意見を言ってそれに対して、目標設定が、意見に対する意見というか…

【会長】

でも、これは令和6年度の目標設定だからもう既にあるわけですよ。

だから7年度に反映する、それはちょっとずれがあったじゃないですか、1年ずつずれたんですね。

だから、令和6年度の意見は、令和7年度の目標設定のときに生かしていただく。

もう既に、令和6年はこれでやっていますよね。

【漆谷委員】

令和6年の目標設定案みたいな感じで、ご意見を聞いてリアクションしてほしいなと思ったんですよ。

【会長】

それはちょっと違います。要するに、令和5年度の成果と問題点が出されていて、それに対する意見を言っている訳ですけど、これ1年ずれていますから、令和6年度の目標はこういうふうに設定されていると。

だから、これが不十分だと思われるんだったら、その意見を書いていただいていた方がいいですよ。

【漆谷委員】

分かりました。

【会長】

だから、これは令和7年度の事業実施に生かしてもらうという形なんですよ。どうしますか。もう少し議論したいですよ。

【佐藤委員】

この全体の項目の中で、どの問題点が1番高いのかというのが、この場で共有できていません。ここが本当に、1番取り組まなきゃいけない所を、担当制で分けてしまっている部分もあります。本当は、委員会として共有しなきゃいけないと感じたため、もう少しシンプルに評価できないのかなと感じた。
このプロセスを知らなかった。そういうふうにしなきゃいけないということ。

【会長】

だからこそ、また見直しをすとかいうこともあると思います。
例えば、この項目でグループを幾つかつづいて、そこで話し合っていた。全体の審議会じゃなくて、別途作業グループみたいな感じで、1回なり2回なり会合を持ってもらって、そこでもう少し小さな単位で話し合っていたというふうなやり方もあるのかなと、皆さんのお時間をまた頂くことになりですけど、全員で全体を議論するのはすごく時間を要するので、例えば三、四人ぐらいのグループで、幾つかにグループを分けて目標が五つか六つぐらいあるので、目標ごとに、検討していただくというふうなこともあるかなあというふうに思います。今回、それをやってもいいですが、どうでしょう。

【佐藤委員】

深掘りするというよりも、今この出ている情報の中で、どれを優先的に取り組むべきかっていうのを皆さんで共有認識する。そういうイメージを持っていた。

【会長】

でも、優先順位が付けられない。横断的にやっているものですから。
だけど、ここが取組弱いですよと指摘していただくことかなあというふうに思っています。

【山口委員】

ちょっと視点が違うんですけど。
市の担当の方にお伺いしたいのは、やっぱり男女共同参画は人権の中の一つですかね。
私が言いたいのは、男女共同参画も人権と捉え、地域課題として捉えるというのが一つあるんじゃないかと思います。
人権というのはですね、要するに、ある家庭がどうも何かいつも、バイオレンス、夫が妻を殴ったり聞いたりしているとかいう情報が来る、あるいは子供に対して暴力を振るっている、そういうのは地域課題だと私は捉えます。
要するに、地域課題としてとらえて、その対策として、私も自治会長やったことあるけど、郷づくりを通じて何か自治会にいろんな、11月にある防災訓練も一緒です。それと同じような考えで、もっと

自治会を活用するという考え・視点が何か足りないように思う。もっと使っていいんじゃないかと思うんです。地域課題ととらえて、自治会を活用する。自治会長を通じていろんな方策を考えてもらう。もう個人に対していきなり、人権大切だ、男女共同参画大切ですよではなくて「地域課題」。私はそう思います。それも一つの案じゃないか。地域を通じて、もっと人権について、意識を高めようという視点がいまいち足りない。あるいは、活用されていないんじゃないかなと思うんですけどいかがなものでしょう。

【事務局】

DVとかも人権に関わることですので、地域の課題として、そこを地域と連携してどうしていくかっていうのはもちろん今後の課題です。

【山口委員】

いや、それに関してどうですかね、地域課題ととらえて自治会を活用するという私の意見。

【宗岡委員】

私は、郷づくりに入っている。各郷づくりは、八つあるんですね。その中には、(男女共同参画地域)推進委員がいっぱいあるんですね。

毎年質問しているんですけども、今日欠席の花野さんが所属されている団体(福津市男女共同参画協議会「繪りん」)が、カードを使った研修会(クロスロードゲーム)っていうのを毎年行われている。そこで、各郷づくりの人権推進委員、地域委員の方の意識向上を目指されていて、地域で一般の方に広めてくださいっていうふうにされているんですけど、郷づくりでは取り組んでないっていうことで、いつも質問するんです。地域できちんと取り組めるように後押しっていうか、助けてくださいと。研修を受けた方たちは、何か分からないままその研修を受けて、郷づくりに持って帰ったけどどうしていいか分からないっていう言葉を、私は直にずっと聞いてきているので、それなら、市のほうからなり、この組織から郷づくりを回って一緒に立ち上げる研修、地域・郷づくりで研修しますので来てくださって募集すれば、集まると思うんですけども、その意見をずっと出してきたが、全然実行されません。

私は、当委員になり2期4年目。

佐藤さんが出された疑問とか、それはずっと出ていますよね。

【佐藤委員】

そうですね、なんか頑張ってもいまいち反映されないからちょっと報われないっていう意見は、前任の審議委員の方からもちょくちょく出た意見だとは思いますが。

【山口委員】

私も自治会長のとき、郷づくりに出たことがありますけど、委員で郷づくりに行かれる方は、どうしても自治会の中から派遣されている。たしかそういう立場だと思うんですが、組長さんがですね。だけどそうじゃなくて、自治会長が地域の主体だから、自治会長にもっと意識を高めてもらって、自治会でもっと情報を得て、人権あるいは男女共同参画に反するような家庭はないかなど、そういうところの情報を集めて、それに対しての対策を練る。自治会防災訓練と一緒に思うんですけど、そういうふうな体制作りをしていくのが良いんじゃないかなと。僕は、そのような気がしますが。

【会長】

それは、ぜひこの中の地域づくりのところに、そういう意見を書いていただくといいんじゃないでしょうか。

【山口委員】

一応書いたんですけど、もっと活用したらどうかなと思います。

【事務局】

いい意味で、その地域を巻き込むっていうのは、市の職員としては常に思っています。
(市と地域間の)温度差や負担になるのかは、ちょっと分かりませんが。

【山口委員】

自治会長ですね、私が思うのは。負担にはなるでしょうね。

【宗岡委員】

だから、市のほうは、クロスロード研修を行っているんですね。

【事務局】

実際は、花野委員も入ってらっしゃる「綸りん」という団体が、主体としてやられている。各郷づくりからの代表2名(地域推進員)ずつに対して、クロスロードゲームを体験してもらっている。

【宗岡委員】

地域に広める役を担っているのは、郷づくりの委員の方たちが自治会に広げればいいと思う。

【山口委員】

なかなか難しいんじゃないですか

【宗岡委員】

難しいんです。

【事務局】

自治会長に取りあえずっていう方法もあるが、市(当推進室)としての窓口は、地域推進員の2名の方を窓口としてお願いするような立場。推進員さんが、窓口になって各地域(郷づくり協議会)に広めたり啓発していただけたらと考えています。

【宗岡委員】

どうしていいか分からないというので、助けてくださいってずっと言っているんです。

【事務局】

それは、各郷づくり協議会から市(当推進室)に聞くなり相談なりしていただけたらと思います。

【宗岡委員】

この場で言ってきたんですよ、私は。何回か。見て、後押しして、一緒に研修会を開いてと言っていますけれど、全く実行されない。(私の意見欄の)どこかに書いてなかったですか。

【漆谷委員】

繰り返しになるんですけど、皆さん言われたような提案事項は、ここに書かれていますよね。次年度どうしようかなっていうので、7年度の目標設定をそれぞれ担当部署に書いていただいて、もう1回検討するみたいな形じゃないと意見がここで分かれて、でも結論はこれだからこうしてほしいなっていうのを各係に伝えて検討頂かないと意見がスルーされている感じが否めない。何か意見が反映されるその辺のシステムが必要では。

【会長】

それをフィードバックする仕組みにはなっているんですけど、それは次の目標設定とか、あるいは実際の具体的なその実施目標のところに反映されると。

だから、みんなの意見は反映されるように、書いていただきたいわけですけど、それを佐藤さんは、もう少しみんなで議論すべきということなのかなあと思うんですよ。個人の意見みたいなものじゃなくて。

【宗岡委員】

すいません。資料2の事業番号7番、私が担当したところに意見を書いています。

これまでもずっと書き続けてきたんですけど、「審議会意見」欄)目を通していただければ、『クロスロードゲームから多様な考え方を体験しています。郷づくり推進員が各地域の中心となって…』云々と。

【会長】

毎年毎年書いているけれども、実行されていないっていうわけですね。意見として出すものなので、ぜひ実行してくださいと、もうちょっと強めてもらうとか書くということもあるのかなと思います。

【宗岡委員】

書いて終わりになっています。

【佐藤委員】

全部をこのカテゴリーでずっとやっていかなきゃいけないっていう話は、よく理解できた。ただ、それもまた皆さんと協議するとなると時間的にも作業的にも大変なので、例えば、この中であえてこの三つだけは、この審議会で課題として共有しようというぐらいです。

審議会のときに、全部やるのは不可能だと思いますので、ここは強い委員さんの意見があるからっていうような所をピックアップして、そういうのを1つでも2つでもやったらいかがでしょうか。ピックアップは、事務局もしくは会長のほうにお任せします。

【会長】

そうですね、分かりました。

次回の審議会では、この内容を確定します。それが多分12月から1月までで少し時間があります。それなので、各ご担当頂いてるところについて、疑問や今までできてない箇所のご意見があると思

いますので、それでもう一度見直していただいて、事務局または横山（もちろんcc）でもいいんですけど、私の方も見させていただいて取りまとめを進めさせてもらいたいと思います。

皆さんにも、全部は難しいので、特にここは意見を強く言いたい所や、この項目とこの項目はもう少しこういうことをやるべきじゃないかなど、担当のところだけでもご意見がありましたら頂きたい。他にも気になるところがあったら、自分の担当外でも、先ほど山口委員がおっしゃったような、自分の担当じゃないけどここがちょっと気になる、ここはもうちょっとやってもらいたい所などがあれば、それも含めてご意見頂けたらと思います。ご意見のやりとりはメールでよろしいでしょうか。集まってというのはちょっと難しいかなあとしますので、メールで送っていただいて共有するのがいいですか。

【事務局】

各委員からメールで意見を頂いて、集約したものを会長に見せて打合せさせてもらった後、皆さんに報告という形を想定しています。

その報告が、第3回目の審議会と考えています。

【会長】

その前に少し皆さんのご意見、ここの部分で頂きたいとかっていうようなのがあれば、事務局のほうから送っていただくようにしたいと思いますけどどうでしょうか。

【各参加者で確認】

- ・書き直して皆さんと議論を一緒にしたい項目があったら会長に伝える。
- ・自分の担当項目で、これだけは納得いかない箇所や、もう少し議論したいというのがあればピックアップする。
- ・他の項目でも、関心のあるところ、気になるところがあれば出してください。

【会長】

少し内容を重視させていただいて、推進事業実施状況一覧の方法についても、次年度に向けて、事務局と話合いたいというふうに思います。

【事務局】

先ほど皆様が、他の審議会では、なかなかこういうふうな評価の仕方がないということをおっしゃられました。全庁的に取組をするというのは、そこまで多くないので、一つの課が作っているこの事業は、結構大きな項目で評価ができます。

ただ、先ほど会長もおっしゃったように、全庁的に、そして一つの項目でも取組方が課によって違うところは、プランの中で項目分けされています。

確かに、どこがどうなんだ、どこぐらいまで出来てどこが出来てないんだっていうのが分かりにくい。私も、大きな項目ごとに整理して、これは参考程度にこういう取組がなされています。でも、この大きな項目のここはもっと分かりやすいように出来ないかと思った。

この実施状況一覧の業務ですけれども、令和8年度までのこのプランが、その次の計画に繋がっていくように見直しも行っていないといけないです。そこも含めて検討させていただきたいと思います。

【会長】

他のところでよく行われているのは、この一覧の「成果・評価」のところをもう少し明確にするとか、何となく文書ではなく、ABCみたいなものを付けるなど、出来たところや出来てないところをはっきりするとか、そういうふうなことも考えていったほうがいいんじゃないかっていうことも意見を伺いました。他の所では、実施したこともあるので。やり方については、またご相談させていただいて、提案できればというふうに思います。

【漆谷委員】

図書館とかは、○・◎・△とかで評価して、見た目で分かりやすいようにされているところもあります。

【会長】

先ほどお願いしましたが、ご担当のところ、またはそれ以外のところでも関心がおありのところなどでご意見頂けたらというふうに思います。

やってほしいことを明確に書いていただいて構いませんので、よろしくお願いします。

【事務局】

ご意見を頂く期間を11月末と設定させていただきたいと思います。

事務局が集約し会長とやりとりをして、次の開催は年末から1月の中旬ぐらいを考えています。またご案内させていただきます。

～山下委員が、途中から入室（Zoom）されたため、内容の確認～

【山下委員】

今までの改善や意見などが、どの程度反映されているか分からないとか、弊害化しているんじゃないかと不安であるという話を聞いていました。

【会長】

方法について、実施項目のチェック、それに対する審議会としての意見の出し方についても色々ご意見頂きましたので、相談しながら提案できるところはしていきたいというふうに思います。

これで一応審議事項は終了しましたので、事務連絡を末廣さんからお願いしていいでしょうか。

【事務局】

事業案内（別紙ジェンダー平等フォーラムチラシ参照）

市広報誌において、参加者を募り、会場まで市の公用バスを使ってフォーラムに参加する旨説明。

【会長】

これについて補足。今年から、県内4地区で行われるようになりました。北九州地区は、もう既に一つ終わったものもありますが、今週末も開催されます。それから、クローバープラザが先ほど説明された春日市です。それから筑後等、筑豊地区でも開催され、時期もずらしてありますので、もし関心のあるところがおありでしたら、ぜひ、行っていただきたいというふうに思います。

【山下委員】

私どものゼミでは、6年連続県民事業に参加させていただいております。11月23日、学生企画において、「脱ルッキズム～誰もが生きやすい世の中を目指して～」と題しまして、私の「KSU地域づくりYゼミ」で発表させていただきます。

今年から学生企画という枠が新たにできまして、九州大学さんや福岡女子大学さんも参加されます。今、ゼミ生が、600人ぐらいの大学生を対象にアンケートをとっています。ルッキズムの問題に、真正面から挑んでおります。

もう一つは、初めての高校生ワークショップ。私を含む3人の大学の先生たちがアドバイザーとなり、高校生34名に対して4か月間ワークショップをし、取りまとめをしている。県内各地の高校生が参加しており、色んな高校生がチャレンジしていますので、ぜひ福津の皆様方も、大学生高校生の若い方々のジェンダーに関する考えなどを聞いていただければと思います。

【事務局】

事業案内（別紙福津市人権講演会チラシ参照）

※当推進室の取り組みとしては、推進モデルと一行詩の表彰

【三牧委員】

（人権講演会に）小学生から高校生までの一行詩の受賞者を、招待または参加してもらうような声かけみたいなものをするのは駄目ですか。

大人が話す場じゃなくて、受賞者よりちょっとお兄さんお姉さんが、自分たちがやったことのより先のことをしているような形を見せることが出来たらなと思ひまして。表彰されたから、こういうイベントがあるから行ってみない、みたいな形で。

フォーラムに行くことで、自分がやったことって、こういうことに繋がるんだと、より理解が深まるのではないかな。せっかく表彰されたので、そういうお声がけするのもいいのかなあと思いました。

【事務局】

11月には、表彰式の案内を通知する予定ですので、通知スケジュールや郵便料金を考慮したうえで検討します。

【会長】

以上をもちまして、第2回の男女共同参画審議会を閉会させていただきます。

皆さんご協力ありがとうございました。お疲れさまでした。